

# 【3月・0歳児・高月齢】

ほいくのおまもりプラス

	Aさん(高月齢/男児/活発) (1歳11カ月/4月生まれ)	Bさん(高月齢/女児/活発) (1歳10カ月/5月生まれ)	Cさん(高月齢/男児/静か) (1歳9カ月/6月生まれ)	Dさん(高月齢/女児/静か) (1歳8カ月/7月生まれ)
子どもの姿	1. 午睡からなかなか目覚められず、声をかけられても起きられなかったり、泣いて怒る日もあった。 2. 友だちに玩具を取られそうになると、怒ったり泣いたりする姿が多いが、保育者の仲立ちで「Aちゃんの」「あとでね」と言葉で伝えようとするこも増えた。 3. 友だちの持ち物がわかり、水分補給の際には、友だちの水筒を「どうぞ」と渡しに行く姿が見られた。	1. 様々な場面で自己主張が強くなり、タイミングによって着替えやトイレに行くことを拒否したり、登園時に保護者と離れたがらずに激しく泣く姿も見られた。 2. 好きな絵本を保育者に差し出して、本児なりに「読んで」と要求し、絵を指差しながら「にゃんにゃん」「プー」など、知っている物の名前を話して楽しんでた。 3. 鼻づまりや喉の渇きの影響で、夜中に目を覚ましてしまうことがあり、園で午前睡が必要な日があった。		
ねらい	1. 生活リズムが安定し、機嫌よく過ごす 2. 自分の思いを言葉で表現しようとする	1. 自分なりに表現した思いを受け止めてもらいながら、安心して過ごす 2. 絵本を通じたやり取りを楽しむ		
内容	1. 体調や疲れに配慮されながら十分に休息を取り、保育者の声かけにより、心地よく目覚める。 2. 保育者に言葉を添えてもらいながら、同じ遊びを楽しむ友だちに、簡単な言葉で思いを伝える。	1. 「こうしたい」「やりたくない」などといった要求や思いを、自分なりの言葉やしぐさで保育者に伝え、受け止めてもらう喜びを感じる。 2. 保育者と一緒に好きな絵本を読み、知っている物の名前を言ったり、出てくる言葉や動きをまねて楽しむ。		
環境構成 配慮 援助	1. 家庭での就寝時間や体調に合わせて午前睡を促したり、必要に応じて早い時間に給食を食べ、徐々に生活リズムを整うように配慮する。また気持ちよく目覚められるように、「ととけっこう」を歌いながら頬をなでたり、「たくさん寝たね」「おやつを食べよう」と声をかけながら、優しく体をタッチして刺激を与えながら起こす。 2. 保育者も遊びに加わり、同じ種類や色の玩具を見せながら「一緒だね」と伝えて、楽しさを共有したり、「これ貸して」といった言葉を使い、やり取りの手本を示す。玩具の取り合いの際には、「Aさんはこれが欲しいんだね」「まだ使いたいんだね」と思いを代弁して受け止め、相手に伝える援助を行い、伝わる喜びを味わえるようにする。	1. 本児の自己主張を受け止め、「こうしたいんだね」「今はやりたくないんだね」など、思いを言葉にして返し、相手に伝わる喜びや安心感を得られるようにする。気持ちが落ち着くまで、抱っこなどのスキンシップを取るとともに、「この絵本を読んだらトイレに行こうか」といった具体的な提案を行い、気持ちを切り替えやすいように関わる。 2. 季節感を感じられる絵本や新しい絵本を取り入れながら、様々な物への興味を育む。絵本を読む際ははっきりとした発音を心がけ、言葉の繰り返しを一緒に楽しんだり、「これは何かな」と問いかけながら、ゆったりとやり取りを楽しめるように関わる。		
食事	(幼児食) ・スプーンを下握りで食べる姿を見逃さず、「かっこよく持てるね」と伝えたり、食べにくそうときはさりげなく手や腕を支えて援助し、自信を持って食べられるようにする。 ・食材を口に詰め込もうとするときは、食べる喜びに寄り添いつつ、「たくさんカミカミしようね」と優しく伝え、落ち着いて食べられるように見守る。	(幼児食) ・自分から器に手を添えて食べる姿が増えてきたので、「器を持つと食べやすいね」と言葉をかけ、自信を育てる。 ・スプーンを下握りして食べる姿を見逃さず、手首のひねりを観察しながら、必要に応じてさりげなく手を添え、食べやすいように援助する。		
家庭との連携	3. 友だちに水筒を届けてあげたり、靴箱から靴を取ってあげたりしたエピソードを伝えることで、保護者が園での友だちとのやり取りを具体的に想像できるようにする。 ・来年度に向けて必要な物を紙面で伝えるとともに、すべての持ち物に記名してもらうよう丁寧に依頼する。	3. 本児の健康状態や前日の就寝時間を聞き取り、必要に応じて休息を取れるよう個別に配慮し、元気に活動に参加できるようにする。 ・本児の自己主張に対する保護者の戸惑いを受け止め、家庭での関わりの参考となるよう、園では保育者に「〇〇なんだね」と思いを代弁してもらうことで、徐々に落ち着く姿が見られることを伝える。		
評価・反省	1. 30分程度の午前睡を取ることで、午睡明けはすっきりと目覚められるようになった。来月も環境が変わり疲れが出やすい時期なので、引き続き十分な休息を取りながら無理なく過ごせるよう、次年度の担任に引き継ぐ。 2. 保育者の仲立ちのもと、「あとでね」「これちょうだい」など、落ち着いて思いを表現できていた。とっさに言葉が出ない場面がまだまだ多いので、子ども同士の間わりを見守りながら、必要に応じて言葉を添えていく。	1. 自己主張を受け止められると落ち着き、保育者の提案を受け入れたり、気持ちを切り替えることができた。引き続き、安心して思いや要求を表現できるように関わる。 2. 本児自身が絵本に出てくる物の名前を言うだけでなく、保育者に「これは？」と聞き、答えてもらうことを喜ぶ姿が増えた。本児の興味や好奇心を受け止めながら、大切に育てていきたい。		

無料版:2名分  
↓  
有料版の  
"おまもりプラス"  
は12名分が  
閲覧&DL可能!

子どもの姿の1, 2は『ねらい/内容/環境構成/配慮/援助/評価/反省』、3は『家庭との連携』と連動しています。

敬称と性別表記:ウェブサイトに当社方針を記載しております。

# ほいくのおまもり **Plus!**

## ダウンロードのお礼とおまもりプラスについて

この度は個人案をダウンロードいただき、ありがとうございます！

ほいくのおまもりプラスでは、**性別／タイプ別／月齢別の12名分の個人案（0,1,2歳児）**をご用意しています。更に・・・

- **無料版の2倍の月案文例**
- 丸1ヶ月分の月～金の全ての週案
- 毎月45個の製作型紙
- 毎月2つのスケッチブックシアター
- その他、会員だけのコンテンツ

これだけ揃って、**月額980円+税**の大特価！気になる人は、以下からおまもりプラスのサービスを確かめてみてくださいね。



## 文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。